



子ども・子育て支援施策について ～少子化と人口減少対策～

周知のように我国では少子高齢化が進み、2040年には半数の自治体で20～30代の女性が半分以下に減ると提示され、今何か対策を行い少子化に歯止めが必要です。若い人たちが集まる町に、その為には安心して子供を産み、育てる環境が整った町づくりが必要です。池田町には各種の少子化対策が実施されていますが、更に次の4点を提案します。

- ① 3人目の子供の給食費無料化
- ② 保育料3人目以降無料に
現在同時入所第2子は2分の1、第3子以降は無料となっているが、上の子が小学6年と改正されたい
- ③ ミルク代、紙おむつの無料券の配布
- ④ 池田町定住促進奨励金制度の制定
池田町に住んでみたい。
池田町に住んで良かった。
池田町に住み続けたい。

そして池田町で生まれて良かったと云われる子育て支援の町になる事を提案いたします。そしてそれをもっと他町にもPRされたい。

町長

- ① 給食費無料化について 3人目と限定すると1000人～1100人で予算500万～700万円の支援になる。
- ② 保育園の無料化 上の子供が小学校3年生、小学校6年生、18才まで試算され、小・中の教育・食育支援として無料化にする対策を考えている。
- ③ ミルク、紙おむつについては、地域振興券を作り一年間有効で町内で使用、出産祝いも含めていきたい。
- ④ それぞれの段階に合った支援を拡充し、それから環境を整備する。順次一つずつ課題を超えて取り入れたい。



ふるさと納税について

「都会に出た若者が成長する際、地方が負担した教育費・福祉の費用を還元してほしい」との自治体の要望で出来た「ふるさと納税」池田町ではどの様に取り組んでいるのか。他市町では真剣に取り組み、年2億・3億の納税を得る町もある。放っていたら減収になるふるさと納税。担当課を設置するか、業者に委託するか早急に検討されたい。

町長

今までは、ホームページや広報でお知らせするなどして取り組んできたが、今後は、ノウハウを持った業者に委託するなどして早急に、真剣に取り組み、子育て福祉も含めネットでPRに務める。